

8-3	コロナで財政は大変だ	所属 千葉県立松戸向陽高等学校 氏名 大倉泰裕
資料名	一般会計収支、歳出総額及び公債発行額の推移 <a href="https://www.mof.go.jp/tax_policy/summary/condition/a02.htm">https://www.mof.go.jp/tax_policy/summary/condition/a02.htm</a> <a href="https://www.mof.go.jp/tax_policy/summary/condition/003.pdf">https://www.mof.go.jp/tax_policy/summary/condition/003.pdf</a>	
資料内容	○ コロナウイルスが蔓延した令和2年度の財政状況が過去の財政状況と比べていかに特別な状況にあるのかをグラフから読み解く。 ○ このような状況から財政の役割の理解を深める。	
教科書等との関連	中学校公民的分野 財政及び租税の役割 高等学校公民科 政府の役割と財政・租税	
キーワード	コロナ 財政 国債	
ねらい	◆ 財政の役割について理解を深めさせ政府が実施した政策について効率や公正の視点から考えさせるとともに、多額の国債発行が及ぼす影響について考察させる。	
活用場面 あるいは 授業プラン の概略	<p><b>発問</b></p> <p>「一般会計収支、歳出総額及び公債発行額の推移のグラフを見てどのようなことに気がつきましたか。このグラフを見た感想は？」</p> <p><b>解説</b></p> <p>財政の役割について一通り学習すれば、プライマリー・バランスを目指してきた政府の財政に対する考え方とは完全に異なることが分かる。やはりコロナウイルスの蔓延はそれほど大変なことだったということがみてとれる。特に未知の感染症への対策ということで、人との接触を減らすことが求められたが、人との接触を減らすということはサービス業を中心に大幅に経済活動を低下させることになり、景気の悪化をもたらすことになる。そこで政府は様々な政策を実施したが、それらはどうだっただろうか。</p> <p>① <b>特別定額給付金について</b></p> <p>当初は生活困窮者(家庭)に限定して30万円給付とされたが、最終的には住民基本台帳に記載されている全国民に対して一律10万円の給付となった。(辞退者を除く) 効率や公正の視点から考えるとどちらの方がよかったのか。またこの政策は経済的にどのような効果があったと考えられるのかを考察させる。</p> <p>② <b>GoToトラベル・イート事業について</b></p> <p>これらの政策についても経済的にどのような効果を狙ったものなのか、また効果はあったのか考えさせ、それを証明するためにはどのような資料が必要なのかを考察させる。</p> <p>③ <b>政府の役割・財政の機能について</b></p> <p>緊急事態であるからということで大量に赤字国債を発行したが、これは必要だったのか(効果はあったのか)、今後はどうするのかを考察させる。その際、財政規律についても考えさせる。</p>	
備考	①の特定定額給付金については栗原先生の指導案(8-2)が参考になります。限界効用という言葉を出して指導してもいいかもしれません。	